

特定非営利活動法人ジェネリック医薬品協議会

2025（令和7）年度 通常総会 議案書

日時 2025 年 5 月 28 日（水）13 時 00 分～14 時 15 分

会場 喜山倶楽部 芙蓉の間

千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 9F 電話 03-3262-7761

次第

1. 開会あいさつ
2. 議長選出
3. 成立状況の確認
4. 議事録署名人の選任
5. 役員信任投票管理委員会の設置
6. 議案審議

議案第 1 号	2024 年度事業報告・決算・監査報告
議案第 2 号	2025 年度事業計画・予算
議案第 3 号	次年度総会開催日
議案第 4 号	顧問の依頼
議案第 5 号	次期役員選任

7. 新理事会開催
8. 理事会報告
9. 閉会あいさつ

【別紙一覧】

1. 2024 年度決算関連
 - 1-1 活動計算書
 - 1-2 貸借対照表
 - 1-3 財産目録
 - 1-4 予算実績対比表
 - 1-5 監査報告書
2. 2025 年度予算（案）
3. 役員選任細則変更の具申書
- 4.
5. 次期役員候補者リスト
6. 次期役員候補者推薦状
7. 次期役員信任投票用紙

1. 開会あいさつ

渡邊善照理事長

2. 議長選出

- 議場にて立候補または推薦を受けて正会員から選出する。

3. 成立状況の確認

- 正会員総数の2分の1以上の出席で成立する。書面等での表決、または他の正会員に代理を委任した正会員も出席とみなされる。

4. 議事録署名人の選任

- 議場にて立候補または推薦を受けて2名以上選任する。

5. 役員信任投票管理委員会の設置

- 議案第5号の役員選任のための信任投票の運営管理を担う役員信任投票管理委員会を設置する。同委員会は、役員候補者以外の本総会出席者数名で構成する。
- 委員は議場にて立候補または推薦を受けて選任する。委員長は委員の互選とする。

6. 議案審議

議案第 1 号 2024 年度事業報告・決算・監査報告

< 1 > 会員の状況

(1) 会員数

	正会員（個人）	賛助会員
2024 年度期首	18	7
2024 年度入会	0	0
2024 年度退会	1	1
2024 年度期末	17	6

- 2024 年度は、期中に 1 名の正会員が退会し、期末会員数は 17 名に減少した。
- 賛助会員数は、期中に 1 社が退会し、6 社に減少した。

(2) 会費納入状況

正会員、賛助会員ともに未納はない。

2. 事業報告

(1) 全体

1) 会議開催

- 通常総会：2024 年 5 月 31 日（金） 学士会館
- 理事会：3 回
- 執行理事会：定例：7 回
- 役員候補者選考委員会：2 回
- ジェネリック医薬品製薬産業維持・育成検討 PT：全体 1 回、A 班 2 回、B 班 3 回

2) 全体総括

- 2024 年度は、2023 年度に注力した「ジェネリック（GE）医薬品産業の維持・育成のための検討」として、GE 医薬品のサプライチェーンを俯瞰してまとめて公表した「我が国のジェネリック医薬品産業の維持・育成を図る課題と方策の提言」（提言書）に基づき、さらに踏み込んだ検討を行うために、次項（2）基本方針に基づく取り組みで述べる新たなプロジェクトを立ち上げた。4 つの課題について、2 つのプロジェクトチームを編成し、GE 医薬品を直接的に取り扱う供給側（製薬企業）、及び使用者側（患者と医療従事者）の立場から関係者にメンバーとして参加していただき検討を進めた。特に、供給側の課題として、GE 医薬品産業の在り方に関わる原薬供給の問題について議論を深め、また、医療現場の実情を踏まえた施策提言に関しては、医薬品情報共有の課題について討議している。最終的なまとめの文書は総会後に公表する見込みである。
- 組織運営の改善については、本総会での役員改選に向けての準備として、GEDA 役

員候補者選考委員会を立ち上げた。委員会は募集に応じた役員候補者を選考するとともに、関連する諸規定の改訂案を理事会に具申した。

- 会員拡大については、プロジェクトチーム関係者等をとおして GEDA 活動についての周知を拡大したが、新規の会員増にはつながらなかった。

(2) 基本方針に基づく取り組み

2024 年度の基本方針で掲げた活動課題は次のとおりである。

- ① ジェネリック医薬品産業の維持・育成のための検討（継続）
 - ・ジェネリック医薬品産業の在り方（再編成）
 - ・オーソライズド・ジェネリック（AG）に関する検討
 - ・医療現場の実情を踏まえた施策提言
 - ・ジェネリック医薬品使用促進のための環境づくり
- ② 組織運営の改善（来年度役員改選に向けての準備を含む）
- ③ 会員拡大

① ジェネリック医薬品産業の維持・育成のための検討（継続）

- 2023 年度に立ち上げた「ジェネリック医薬品製薬産業の維持・育成に係わる検討プロジェクトチーム（GEDA-PJ）」がまとめた「我が国のジェネリック医薬品産業の維持・育成を図る課題と方策の提言（2023 年度）」は、2024 年 4 月 17 日にニュースリリースで公表したのち、厚生労働省の担当部署に提出した。日本ジェネリック製薬協会、日本ジェネリック・バイオシミラー学会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会など関係団体にも配布した。
- 2024 年度は、下記のとおり二つのプロジェクトチームを編成して、検討を継続した。検討内容は 2025 年 5～6 月に公表する予定である。

【コアメンバー】

渡邊善照	GEDA 理事長	花岡一雄	GEDA 副理事長
戸島洋一	GEDA 執行理事	太田 進	GEDA 専務理事（事務局）
國廣吉臣	沢井製薬株式会社 執行役員		
横濱重晴	CBC 株式会社 テクニカルアドバイザー		

【A 班】

- 主題
 - ・ジェネリック医薬品（GE）産業の維持・育成に必要な薬事制度の改革提言
 - ・原薬等供給に関する改善の提言
- メンバー
 - 原 三千雄 GEDA 監事
 - 鴻上 敬介 沢井製薬株式会社 執行役員
 - 白鳥 悟嗣 日本医薬品原薬工業会 副会長
 - 岸本 文雄 日本医薬品原薬工業会 事務局

【B 班】

● 主題

- ・ 医療現場の実情を踏まえた施策提言。特に、GE 医薬品に関する情報に対する医療現場目線から提言
- ・ GE 医薬品使用促進のための環境づくり。特にオーソライズド・ジェネリック（AG）に関する提言

● メンバー

巖本 三壽 GEDA 理事
後藤 一美 一般社団法人日本病院薬剤師会 理事
渡邊 学 一般社団法人日本病院薬剤師会 理事
田中 千尋 公益社団法人日本薬剤師会 常務理事
折井 孝男 医薬品情報標準化推進協議会 代表

② 組織運営の改善（2025 年度役員改選に向けての準備を含む）

役員候補者選考委員会で 2025 年度通常総会で選任する役員候補者の選考を行った。
あわせて同委員会では役員選任細則の改正検討を理事会に具申した。
同委員会の構成は以下のとおりである。

委員長：山本信夫

委 員：松本和哉 盛本修司（代理：川崎浩延） 山本典男

③ 会員拡大

意識的な取り組みにはならず、新規会員は獲得できなかった。一方で期中の退会が正会員 1 名、賛助会員 1 社あり、会員減となった。

（3）主な活動

1）ジェネリック医薬品の日の取り組み

2024 年 12 月 19 日に記念パネルディスカッションを学士会館で開催し、GEDA 内外 33 名（うち GEDA 関係者 13 名）（パネリスト 6 名、メディア 2 社を含む）の出席を得た。
内容は GEDA 年報 2024 に掲載されている。

- ・ テーマ：患者さんのためにジェネリック医薬品の情報共有のあり方を考える
- ・ サブテーマ：供給側とユーザー側の相互理解を深めるために
- ・ 座長：渡邊善照理事長
 - ・ パネリスト：
 - 田中千尋様（日本薬剤師会 常務理事）
 - 後藤一美様（日本病院薬剤師会 理事、東京都病院薬剤師会 会長）
 - 折井孝男様（医薬品情報標準化推進協議会 代表）
 - 小川 真様（日新製薬 管理本部業務部長）
 - 小船洋将様（日本ジェネリック 営業管理部長・物流管理課長）
 - 巖本三壽様（GEDA 理事、医療法人社団桜壽会 理事長、医師）

2) GEDA 年報

2024 年 4 月に年報 2023 を発行した。

- ・ 特集：ジェネリック医薬品の日記念パネルディスカッション 2023
- ・ 寄稿：5 件

年報 2024 の作成作業をした。

- ・ 特集：ジェネリック医薬品の日記念パネルディスカッション 2024
- 寄稿：7 件

3) 情報発信

- ・ 外部発表：2 件
 - ・ 日本薬剤学会第 39 年会（神戸） 2024 年 5 月 25 日
演題：我が国のジェネリック（GE）医薬品産業をどのように維持・育成していくのか―課題と方策を考える
共著者：渡辺善照（演者）、横濱重晴、太田進、石川康成、戸島洋一、花岡一雄
 - ・ 第 34 回日本医療薬学会年会（千葉） 2024 年 11 月 3 日
演題：我が国のジェネリック（GE）医薬品産業を維持・育成する課題と方策を考える―使用者側への提言
共著者：渡辺善照（演者）、横濱重晴、太田進、石川康成、戸島洋一、花岡一雄
- ・ メディア記事：2 件
 - ・ ジェネリック医薬品の日記念パネルディスカッション 2024：薬事日報、じほう

4) 定款変更

2024 年度通常総会決定により定款を変更した。

3. 決算

【別紙参照】

- 1-1 活動計算書
- 1-2 貸借対照表
- 1-3 財産目録
- 1-4 予算実績対比表

（1）概要

- ・ 将来的な財政難に備えた経費削減の取り組みが引き続き求められていた。
- ・ 非経常収支はなかった。
- ・ 収支は 73 万 3,350 円の赤字となった。
- ・ 総費用の割合は事業費 41%、管理費 59%となった。

<総合計>

- 総収益 1,375,964 円
- 総費用 2,109,314 円

- 当期正味財産増減額 △ 733,350 円
- 前期繰越正味財産額 3,951,227 円
- 次期繰越正味財産額 3,217,877 円

(2) 内訳と予実対比

<収益>

- 正会員会費 100,000 円
- 賛助会員会費 1,200,000 円
- 受取利息 1,964 円
- 雑収益 74,000 円
- 合計 1,375,964 円 (予算 1,595,040 円) (対予算 : 86%)

<費用>

(1) 総額 (事業費と管理費合計)

- 予算 : 2,359,500 円
- 実績 : 2,109,314 円 (予算執行率 89%)

(2) 事業費

- 予算 : 1,259,000 円
- 実績 : 854,360 円 (予算執行率 68%)

【事業別内訳】

① ジェネリック医薬品の普及、およびその研究成果の啓発・宣伝・研修・振興等

- 予算 : 766,500 円
- 実績 : 558,190 円 (予算執行率 73%)

費目	予算 : 円	実績 : 円	予算執行率
旅費交通費	100,000	103,836	104%
会議費	200,000	162,019	81%
広報宣伝費	150,000	67,790	45%
諸謝金	70,000	53,456	76%
雑費	2,000	0	0%
印刷製本費	200,000	147,138	74%
通信運搬費	30,000	23,951	80%
消耗品費	2,000	0	0%
事務用品費	2,000	0	0%
支払手数料	500	0	0%
予備費	10,000	0	0%
合計	766,500	558,190	73%

■ 主な支出目的

- イベント開催 : 「ジェネリック医薬品の日」記念パネルディスカッション
- 年報発行 : 2023 年版

- 広報：ニュースリリース

■ 主な予実差要因

- 広報宣伝費：資材を作成しなかった。

② ジェネリック医薬品に関する国・自治体・関係 諸機関への提言活動等

- 予算： 492,500 円
- 実績： 296,170 円（予算執行率 60%）

費目	予算：円	実績：円	予算執行率
諸会費	5,000	5,000	100%
雑費	2,000	0	0%
旅費交通費	80,000	67,740	85%
会議費	20,000	0	0%
調査研究費	40,000	56,000	140%
新聞図書費	10,000	0	0%
諸謝金	300,000	111,370	37%
消耗品費	5,000	0	0%
通信運搬費	10,000	740	7%
印刷製本費	10,000	55,320	553%
支払手数料	500	0	0%
予備費	10,000	0	0%
合計	492,500	296,170	60%

■ 主な支出目的

- 総会講演
- ジェネリック医薬品産業維持・育成検討プロジェクト
- 外部イベント参加：日本医療薬学会年会、日本 GE・BS 学会、レギュラトリーサイエンス研修会、日本薬剤学会年会

■ 主な予実差要因

- 印刷製本費：ジェネリック医薬品産業維持・育成検討提言書の発行
- 調査研究費：外部イベント参加が多かった。
- 諸謝金：支払い時期が次年度になった。

(3) 管理費

- 予算： 1,100,500 円
- 実績： 1,254,954 円（予算執行率 114%）

費目	予算：円	実績：円	予算執行率
印刷製本費	20,000	22,545	113%

消耗品費	10,000	37,477	375%
地代家賃	480,000	480,000	100%
通信運搬費	5,000	24,443	489%
旅費交通費	100,000	148,338	148%
会議費	300,000	195,501	65%
広報宣伝費	150,000	163,643	109%
交際接待費	5,000	10,152	203%
支払手数料	500	1,087	217%
事務用品費	5,000	60,398	1,208%
雑費	5,000	0	0%
予備費	20,000	0	0%
委託費	0	111,370	予算なし
合計	1,100,500	1,254,954	114%

■ 主な支出目的

- ・ 会議開催：総会
- ・ 事務機能維持
- ・ ネット環境維持
- ・ 顧問委託

■ 主な予実差要因

- ・ 事務用品費：新規事務アプリ導入、印刷機更新
- ・ 通信運搬費：会議資料送付重量増
- ・ 消耗品費：印刷機備品追加
- ・ 委託費：顧問委託

4. 監査報告

【別紙参照】

1-5 監査報告書

議案第 2 号 2025 年度事業計画・予算

1. 会員数（2025 年度期首）

正会員	賛助会員
17	6

2. 事業計画

（1）活動の基本方針

- GE 医薬品についての諸課題は、国、厚生労働省等の各種会議体で検討が進められており、GEDA の取り組みとしてどのように独自性をもって社会に貢献するのか、大切

な時期に来ている。NPO として、GE 医薬品企業側と患者を含む医療従事者側との両面から課題解決に向けて活動する立ち位置踏まえ、GE 医薬品産業の維持・育成に関わる課題への対応策を継続して検討していくことを活動の基本方針とする。

- 2025 年度は、2024 年度の基本方針に挙げた活動計画のうち検討に踏み込めなかった、オーソライズド・ジェネリック（AG）に関する検討および GE 医薬品使用促進のための環境づくりについて検討するプロジェクトチームを編成する。
- 課題に対する改善方策を含めた提言をすることが GEDA の使命のひとつであり、我々の情報発信の在り方についても改善を図る。
- プロジェクト実施体制に注力するために、従前の委員会制度は取りやめる。ただし、会員の確保については、プロジェクト実施体制とは別に、具体的対応を行うグループを編成する。
- 計画的に会員拡大に取り組む。

（２）会議

経費節約のため開催は Zoom と集合を会議の目的と性格に応じて使い分ける。

- 通常総会 2025 年 5 月 28 日（終了後に勉強会と情報交換会を開催）
- 理事会 3～4 回
- 執行理事会 7～8 回開催
- プロジェクトチーム 各班数回

（３）主な活動

１）ジェネリック医薬品産業の維持・育成のための検討

- 2024 年度プロジェクトチームによる提言を活用して、関係各方面と交流を深めながら、その内容を広め充実発展させる。そうした活動を通じて GEDA の認知度を高める。
- 2025 年度は次の二つのテーマごとにプロジェクトチームを編成する。チームメンバーの構成は改めて人選する。
 - ① オーソライズド・ジェネリック（AG）
 - ② GE 医薬品使用促進のための環境づくり

２）ジェネリック医薬品の日の取り組み

- 2025 年 12 月 22 日（月）に記念イベントを、喜山倶楽部で開催する。

３）GEDA 年報の発行

- 2024 年度版を発行する。
- 2025 年度版の作成作業を進める。

４）その他のイベント

- 総会後のイベントは、勉強会として開催する。
- 広く公開するイベントは、ジェネリック医薬品の日記念イベントに注力する。

５）情報発信

- ・ 情報発信のあり方を検討する。そのための検討グループを編成する。

(4) 委員会について

- ・ 委員会は廃止して、テーマごとにプロジェクトチームを設置する。プロジェクトチーム設置は理事会で決定し、その運営は執行理事会が担当する。

(5) 役員選任細則の見直し

- ・ 2024 年度役員候補者選考委員会の理事会への具申を踏まえて、2027 年度の役員改選に向けて、役員選任細則を見直す。細則の変更は 2026 年度通常総会で決定する。

(6) 会員拡大

- ・ 財政改善のためにもとりわけ賛助会員の拡大を進める計画を立てて、提言やジェネリック医薬品の日の取り組みなどをアピールしながら勧誘する。

3. 予算

【別紙参照】

2. 2025 年度予算（案）

<編成方針>

- ・ ジェネリック医薬品産業の維持・育成のための提言を活用し、GEDA の価値をアピールして、認知度を上げる活動を重視する。
- ・ 会議・イベント開催について
 - ☆ 総会、イベントは集合開催とする。
 - ☆ 他の各会議は集合開催、オンライン、メールを事情に合わせて選択する。

<総合計>

総収益	1,330,000 円	(対前年 97%)
総費用	2,234,000 円	(対前年 106%)
当期正味財産増減額	△904,000 円	
前期繰越正味財産額	3,217,867 円	
次期繰越正味財産額	2,313,867 円	

<収益>

合計	1,330,000 円	(対前年 97%)
正会員	80,000 円	
賛助会員	1,200,000 円	
その他	50,000 円	(総会後情報交換会会費、受取利息)

<費用>

(1) 事業費

合計	1,126,000 円	(対前年 132%)
事業①	607,000 円	(対前年 109%)

事業② 519,000 円 (対前年 175%)

【事業別要点】

- ① ジェネリック医薬品の普及およびその研究成果の啓発・宣伝・研修・振興等
 - ・ ジェネリック医薬品の日の取り組みを強化するために関連費用を増額する。
 - ・ 郵便料金値上げと送付重量増のため通信運搬費を増額する。
- ② ジェネリック医薬品に関する国・自治体・関係 諸機関への提言活動等
 - ・ ジェネリック産業維持育成提言のためのプロジェクト関連費用を増額する。
 - 諸謝金： 外部プロジェクトメンバー
 - 調査研究費、印刷製本費、調査研究費

(2) 管理費

合計 1,108,000 円 (対前年 88%)

- ・ 広報宣伝費：前年はホームページ改修費用が発生したが、本年は通常費用のみ。
- ・ 通信運搬費：郵便料金値上げ対応

議案第 3 号 次年度総会開催日

- ・ 2026 年 5 月下旬に開催する。開催日時、会場等は招集者の理事長に一任する。

議案第 4 号 顧問の依頼

- ・ 2024 年度から顧問に就任いただいている藤井基之氏（前参議院議員）を、2024 年度と同条件で 2025 年度も顧問就任を依頼する。

議案第 5 号 次期役員選任

- ・ 定款と細則に基づき、2025 年度～2026 年度の 2 年間を任期とする理事と監事を選任する。
- ・ 選任は理事会から付議された個々の役員候補者について無記名の信任投票で行う。
- ・ 信任投票の運営管理は、役員信任投票管理委員会が行う。

7. 閉会あいさつ

以上